

おぼろ

2023年3月
第735号

日本基督教団 平塚教会
発行人 平塚教会
編集人 中山洋司
〒254-0045 平塚市見附町6-18
電話 〇四六三(32)八八三一



聖書の読み方

平塚教会牧師 北川一明

あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけて出すまで捜し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り、友達や近所の人々を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであろう。言うておくが、このように、悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある。

(ルカ一五・4〜7)

仮りの話ですが、来日したローマ教皇が大勢のマスコミに取り囲まれて、なぜか自分のところに来た。そして「九十九匹を野原に残して見失った一匹を見つけて出すまで

捜し回らないだろうか」と自分に質問したら何と答えるでしょうか。私ならたぶん「はい、捜しに行きます」と答えます。教皇もマスコミもそういう答えを期待していると分かるからです。

さらに教皇が「悔い改める一人の罪人については、悔い改める必要のない九十九人の正しい人についてよりも大きな喜びが天にある」と話をまとめたら、私はたぶん「至極ごもっともでございます、神さまは素晴らしいです、オアリガトウございます」と平伏するでしょう。

こうしたやり取りが聖職者と庶民との間で、また牧師と教会員、CS教師・キリスト教学校教師と生徒との間で二〇〇〇年間続いてきました。そのために教会での聖書の読み方は、すっかり歪んでしまいました。

一人の幼稚園児を連れて総合公園に行き一人を見失った場合、九人を野原に放置して一人を捜し回ることとはしません。九人を連れて捜さざるを得ません。イエスさまであろうが教皇さまであろうが「野原に残して捜し回らないだろうか」と問うてきたら、表面は「ごもっともです」と答えても、心の中では「それでは二次被害が起きる、質問者は世の現実を知らない」とつ

目次

聖書の読み方	牧師 北川一明 …1	クリスマス献金の送り先	…4
いま、神奈川教区婦人委員会は	編集後祈		…4
文責 中山身知子 …3			

ぶやく。その方が、ただ「神さまの愛は素晴らしい」と読むよりも、いくぶん正しい聖書の読み方です。

「友達や近所の人々を呼び集めて『一緒に喜んでください』と言うであらう」というイエスさまの見解も疑問です。見つけたら喜びますが、友達や近所の人を集めません。周りの人には関係ないのに、そんなことをしては迷惑をかけます。

多くの人が聖書は難しいと言います。日本語の訳語が不適切だから難しいところがあります。二〇〇〇年前の社会が分かっているのと難しいところもあります。でも創世記の最初の方や福音書は、日本語的には簡単な箇所が多いです。ただ、それを「至極ごもつとも、聖書は正しい、有り難い」という結論で読まなければならぬとすると、にわかに難しくなります。また聖書はつまらなく なります。

「聖書は正しい」とは私たちの信仰です。しかし幼稚園教諭が野原に九人を放置するのは間違いです。自分一人の高揚感から友達や近所の人々を呼び集めるのも正しいこととは言えません。

聖書が正しいからといって、自分が聖書

の正しさをすんなり理解できると考えているなら、はなはだ傲慢です。たとえ聖書は正しくとも、私たちには聖書の正しさが分からないという前提で読むのが正しい聖書の読み方です。そうでなければ聖書の正しさを新たに発見することはできません。聖書が面白いのは、真理を新たに発見できた時です。

聖書の正しさを新発見するには、いつけん正しいとは思えない部分があつかかりになります。

大きな喜びに調子に乗って周囲を巻き込もうとしたことはいないでしょうか。後で我に返って周囲に申し訳なく恥ずかしいとしても、喜びがそれほど大きかったということなのです。

二人の子を持つ親が一方を放置しもう一方だけを大切にするのは間違った子育てです。しかし一人が重病の時、健康な子を忘れて必死に病児だけに対応した、そういう経験のあるかたはあるでしょう。それ程の心配をした後で子どもが快復したら、もう一人の子を放置した問題は残るもの、それでも快復の喜びは特別です。

自分のそうした喜びを思い出しながら「大きな喜びが天にある」という部分を読

めば、罪人の回心に神がどれだけ喜んでくださるか多少は分かってきます。言い古された「神さまの愛は素晴らしい」という教会の決まり文句が、つまらないお題目から生き生きした福音の言葉に変わります。

神学生の時、いくつかの教会で「信徒のあかし」なるものを聞きました。修養会の夜、雑談の場に出てきたあかしは生きた福音の言葉でした。しかしルーチンの祈禱会で順番に話すあかしは死にそうに退屈なものの方が多かったように覚えています。教会の教勢が右肩上がりだった昔は、ルーチン祈禱会でも生きたあかしが多かったのでしょう。

私たち牧師・説教者も苦労しています。生きた福音をあかしたくないのに、決まり切った正統教理の連呼になりがちです。正しいことを言わなければならないと思うからです。しかし「**文字は殺すが霊は生かす**」(コリントⅡ三・6)とありますが、聖書の意味が生きた現実と関係なくなると聖書の言葉は死んだ文字になります。

素直に疑問を感じ、聖書は正しいという前提で自分の疑問を吟味しながら読むと、聖書は本当はかなり面白い本です。



いま、神奈川教区婦人委員会は

教区婦人委員会は、神奈川教区宣教部委員会の一員として、1969年発足以来各教会の婦人たちが、婦人集会、講演会、婦人会報発行(年一回)等の活動に参加してきました。

さらに、横浜、川崎・鶴見、東湘南、西湘南、湘北の5地区婦人委員会が、それぞれに集会、講演会、クリスマス問安、世界祈禱日集会を行ってきましたが、高齢化、有職婦人の増加、婦人会の減少等々により、2011年東湘南地区休会、2019年西湘南地区休会、2022年湘北地区連絡係のみとなり、2023年より横浜地区、川崎・鶴見地区だけの参加となる予定です。

コロナ禍のために中止されていた教区婦人集会が、2022年9月20日三年ぶりに日本キリスト教団横浜磯子教会で開催され、礼拝メッセージ「さあ、共に生きよう」飯田瑞穂牧師(溝ノ口教会)、報告「神奈川教区の現状と展望」古谷正仁牧師(教区総会議長)、「今後の教区婦人委員会についての話し合い(事前に各教会へのアンケート実施)」が行われ、今後に向けて大きな

課題が与えられています。

平塚教会の属する西湘南地区は、各教会からの委員選出が困難となり、地区委員会を組織できずに、休会となっていますが、「世界祈禱日集会」だけは続けたいと願い、藤沢、茅ヶ崎、平塚・大磯・二宮、小田原・湯河原4グループの教派を越えた教会が持ち回りで、会場教会、事務担当教会を担い合っています。

コロナ禍により、2019年を最後に途絶えていましたが、次の日程で世界祈禱日集会が行われます。

(文責中山身知子)

◎世界祈禱日集会

【日時】

2023年3月3日(金) 10:30 ~ 12:30

【テーマ】

台湾からのメッセージ「あなた方の信仰について聞いています」

【お話】

白鳥彰牧師(日本基督教団辻堂教会)

【会場】

日本基督教団藤沢教会

世界祈禱日について

「知ることから祈りへ、祈りから行動へ」

世界祈禱日は、多様なキリスト教の伝統を共有するキリスト者女性により1887年にアメリカの女性たち移住者や抑圧されている人たちを覚えて始まりました。2度の世界大戦の経験から、地球規模の視野をもって和解と平和を求める祈りによる世界的な運動に発展しました。

毎年3月第1金曜日を中心に、テーマにそって祈りあい、世界的なネットワークをもつ女性たちと祈りと行動を続けています。世界祈禱日の献金は、世界祈禱日国際委員会(WDP)を通して式文作成国や国内外の女性たちの働きのためにささげられます。

(式文より抜粋)

📁 クリスマス献金の送り先

2022年度のクリスマス献金は、90万円の予算額を越えて **992,035 円**（2月5日現在）となりました。感謝いたします。なお、諸方面への献金は、幼稚園・教会ともに二カ所ずつ、次に掲げる団体に送らせていただきました。

📁 「幼稚園」の献金先

● 社会福祉法人

エリザベス・サンダース・ホーム

神奈川県大磯町に澤田美喜女史によって創設された児童養護施設です。

第二次世界大戦後、駐留軍兵士と日本人女性との間に生まれた混血孤児たちの不遇な状況を目のあたりにし、この子どもたちを救うのが自分の使命であると考え、救済に立ち上がりました。

その後、子どもたちの成長に合わせて児童養護施設とし、二千人の子どもたちを育て上げて世に送り出し、1980年に逝去するまでの30年間、母として教師として子どもたちの養育に人生を捧げました。（ホームページ参照）

● キリスト教保育連盟

日本のプロテスタント諸教派に属する保育所、幼稚園、認定こども園、保育所養成機関が加盟している一般社団法人の団体です。

乳幼児保育の理論と実践に関する調査研究を行い、保育の質を高めるとともに保育関係者の資質向上を図り、乳幼児保育の振興に寄与することを目的としています（平塚二葉幼稚園の先生方も研修に参加しています）。定期刊行物として、「キリスト教保育」「ともに育つ」を発行しています。（ホームページ参照）

📁 「教会」の献金先

● 社会福祉法人 小諸学舎

長野県小諸市にある障害者支援施設です。当法人の「あいさつ」には次のようなことが書かれています。

『私』の隣にいろいろなことで苦しみ、悩み、また泣かされ、もどえる人がいて、たまたまそれをはっきり誰かに訴えることができない人であったので『私』はそれを知って黙っておれなくなった。という思いから、市民運動が始まりました。そして1970年に財団法人一羔会が設立され、

1971年に社会福祉法人小諸学舎が誕生しました。知的に障害のある人たちと共にこの地域の中で、一人ひとりが、かけがえない存在として生きる世界を実現したいと願っております。（ホームページ参照）

● 学校法人 東京神学大学

東京都三鷹市にあるプロテスタントの合同教会たる日本基督教団立の神学校で、1930年に創立し、1949年に大学が設置されました。以来教会や学校へと聖職者を輩出してきましたが、近年、応募者が減少し収容定員の充足率が大きな課題となっております。（ホームページ参照）

今後のキリスト教信仰を継承・維持・発展していくためにも、当大学が未永く継続していくように支援することが信徒の役目であろうと思われれます。

編集後祈

梅の花が満開になりました。今までの寒さはどこへと春を感じます。三月は、卒業・転勤の季節。今までの恵みに感謝し、これからの新しい門出に夢と希望を主に委ね、主とともに歩んでいきますようにと祈ります。

（編集子）